

家の被害状況を 写真で記録しましょう

災害により住まいが被害を受けたときは、片づけや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう
罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに大変役に立ちます。

写真撮影のポイントは、家の外と中の写真を撮ることです

★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。

写真撮影のポイント (家の外の場合)

- なるべく4方向から
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

写真撮影のポイント (家の中の場合)

- 被災した部屋ごとの全景写真
- 被害箇所の「寄り」の写真

＜想定される撮影箇所＞

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバスなど

＜イメージ図＞

